

MECC だより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 2003年8月 第3号

平成 15 年度総会開催

昨年5月30日NPO法人としての設立総会を開催して以来早や1年余経ちました。

去る5月27日、平成15年度総会を武蔵野市吉祥寺本町コミュニティセンターにおいて開催し、6件の議案を審議し無事終了しました。

~~~~~

### 平成 14 年度事業について

MECCがNPO法人となって2年目、行政との信頼関係構築も進み、地域での着実な活動が期待されるようになりました。一方、全国環境カウンセラー連合会（ECU）も体制づくりが進行し、構成メンバーとしてのMECCの役割にも大きな期待が掛けられています。

事業の第1に挙げられる「事業者向け環境マネジメント講座」は武蔵野市からの委嘱に基づき、市内の中小事業者を対象に環境省が推進す

る「環境活動評価プログラム（EA21/後述）」を解説するもので、平成13年に行ったISO入門講座の続編に相当します。この講座は既にISO14001認証を取得している武蔵野市が、環境経営の思想を事業者に徹底させるために企画したもので、平成15年度から実施される「武蔵野市グリーンパートナー事業（後述）」にリンクしています。



### 平成 14 年度事業の内容

①事業者向け環境マネジメント講座を開催しました。（9/30,10/10/武蔵野市役所会議室にて）

MECCでは本講座のためプロジェクトチームを編成し、幾つかのモデル企業のデータ作成、演習方法などを検討しました。対象は主として武蔵野市への納入企業及び団体です。結果は28社38人と予想を上回る盛況となり、上述の「グ

リーンパートナー事業」発足に弾みが付きました。（担当：藤井副理事長以下9人）。



事業者向け環境マネジメント講座

②ECUが実施した「環境教育環境学習指導者セミナー」(平成14年度事業)にMECCは東京連合会の1構成メンバーとして東京会場(セッション杉並)を担当しました。この事業は全国5ヶ所、地元協議会との共催によるセミナー実施及

びテキスト作成から成り、参加者は総勢520人と、予想を上回る成果を得ました。富川理事長は本セミナー実行プロジェクトのリーダーとして活動しました。

### 管理運営関係

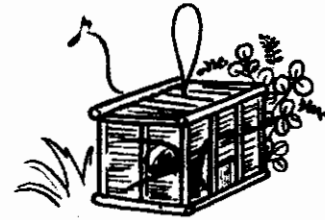
\*会議、講演会、広報

- ・年次総会 平成14年5月30日
- ・理事会：第1回 平成14年5月15日  
第2回 平成15年1月11日
- ・定例会議：原則毎月第2月曜日全12回  
(場所：吉祥寺本町コミュニティセンター)

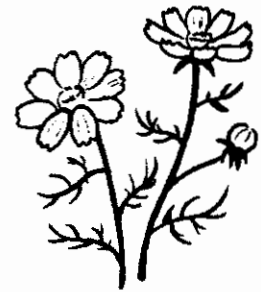
### その他

\*関連団体への参加：

- ・全国連合会年次総会 6月21日 赤羽会館
- ・東京連合会総会 7月6日 赤羽会館
- ・環境省公聴会(11/7)：  
環境保全活動の活性化方策について
- ・都立研究所の研究報告会(5/11/MECC共催)  
老化への挑戦(場所：南町コミセン)
- ・NPO法入門講座：  
東京ボランティア市民活動センター主催の  
講座に参加。(藤井、富川)
- ・PRTR法研究会：PRTR法の知識向上のため  
栃木協議会とECUとの共催による講習会  
を本郷事務所において開催しました。  
(富川、松島)



- ・広報誌を発行しました。5月の月例会で了承された構想に基づいて発行し、会員及び関係先(自治体、各協議会など)に配布しました。  
創刊号7月(200部)、第2号3月(150部)。



\*イベントへの参加

- ・エコライフ・フェア2003：  
代々木公園で5/31,6/1の両日、環境カウンセラー全国連合会(ECU)として参加し、環境学習指導者養成セミナー、EA21、PRTRを紹介しました。
- ・炭化リサイクル：  
6月に糸井理事が南町コミセンのイベント「ミリオンプロジェクト」に参加し、炭化炉を使った割り箸の炭化リサイクル実験を行い一応の成果を収めました。住宅街での大量の煙放出などの課題も残りました。

## 平成 15 年度事業計画について

MECC は平成 15 年度に武蔵野市で発足した「グリーンパートナー事業（後述）」のアドバイザーとして武蔵野市との業務契約に基づいて活動することになりました。仕事の内容は中小企業の事業者を対象とした「環境教育活動評価プ

### 平成 15 年度事業の内容

武蔵野市グリーンパートナー事業（後述）への支援活動の一環として、中小企業に対する「環境活動評価プログラム/EA21」実施指導をベースとした様々な相談に応じます。具体的には月 1 回、年間 11 回、1 回当たり 3 人以上で実施する予定です。個別企業への実施指導は 6 社程度

### 管理運営関係

管理運営の主体は月例定例会議（月例会／全員参加／第 2 木曜日）です。理事会は年間 4 回、4 月（総会準備）、6 月（総会のまとめ）、1 月 or 2 月（来年度の活動、決算準備）、9 月（中間見直し）に行われます。

活動情報は「月例会報告」「理事会報告」「MECC だより」にまとめられています。「MECC だより」は年 3 回発行し、MECC の対

ログラム（EA21）」実施指導です。今後はこれをベースに多摩全域への拡大を図ります。また、管理運営面では広報誌発行、研究会の実施などを更に充実させていきます。

予定しています。同じ講座を更に小平市においても開催します。



相談会の様子（武蔵野市役所会議室）

外的紹介宣伝に役立てます（担当：富川、宇野）。

研究会には“EA21 研究会”と“PRTR 研究会”とがあります。前者は EA21 普及活動促進検討及び業種別規模別資料作成を行い（担当：藤井）、後者は有害物質管理の実情調査、法律研究を行います（担当：川真田）。

MECC は関連団体（全国連合会、関東連絡会、東京連合会）へも積極的に参加します。

\*総会の結果平成 15 年度の役員は以下の皆さんに決まりました。

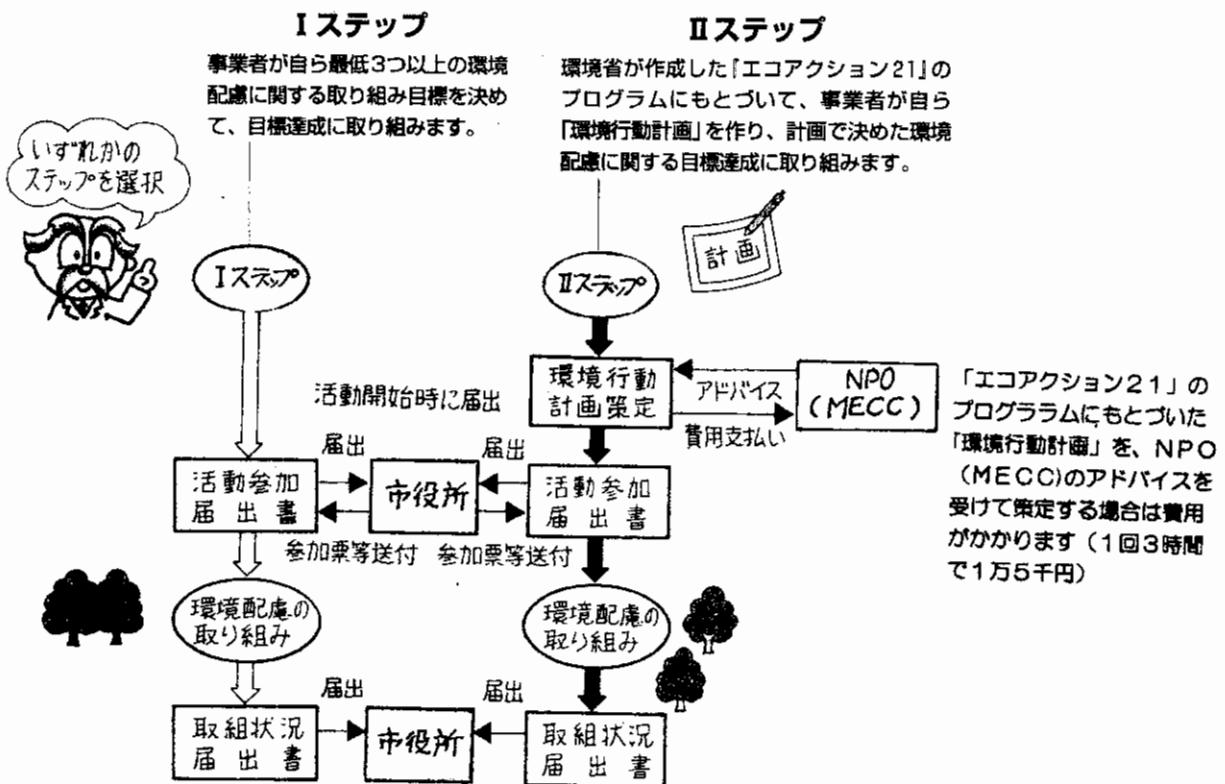
|     |       |      |        |    |       |
|-----|-------|------|--------|----|-------|
| 理事長 | 富川 昌美 | 副理事長 | 藤井 健史  | 理事 | 阿部 英美 |
| 理事  | 糸井 守  | 理事   | 川真田 直之 | 理事 | 高橋 博良 |
| 理事  | 宇野 哲夫 | 監事   | 坂井 丈夫  | 監事 | 林 光男  |

（平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで／住所または居所は名簿参照）

## 武蔵野市グリーンパートナー制度について

グリーンパートナーとは提供する製品やサービスが環境に負荷を与えないよう、できるだけ環境にやさしい事業活動を行う事業者のことで、この制度は武蔵野市独自のものです。MECC としてはこの様な事業者を増やすことを重点活動の1つとしており、今までの市への支援体制を順々に整え、今年度 MECC 事業の主目的としました。

## グリーンパートナーの手続きの流れ



## トピックス

- 「神田川サミット in 杉並」：神田川フィールドワーク、シンポジウム、交流会など

日時：10/11 (土) 10:00～17:30

場所：京王線高井戸駅前、主催：神田川ネットワーク

- 「隅田川大学公開講座」隅田川上流部フィールドワーク

日時：H15.9.14 (日) 13:00～ 主催：隅田川市民交流実行委員会

## 会員紹介

### ・阿部 英美

環境管理全般についての計画立案、実践。  
ISO14001 の環境管理システム構築及び実践。  
EA21 の実践指導。企業の環境活動全般について  
ライフサイクル・アセスメント（材料購入から  
廃棄まで）から環境改善を支援。

### ・石田 義彦

環境カウンセラー（事業者）、エネルギー管理士、  
公害防止管理者、省エネルギー普及指導員、ボ  
イラー・タービン主任技術者。エネルギー多消  
費型、全公害型の紙パルプ企業、廃棄物処理企  
業での企画・設計・運用管理に従事。現在、EA21  
指導員、省エネルギー指導員、小平市民版環境  
配慮指針づくり員、小平環境の会。

### [編集後記]

MECC だよりを初めて担当させて頂きました。仕事は“取材&編集”とのこと。慣れない仕事で  
すので富川理事長のご指導のもと、何とか発行に漕ぎ着けました。今後とも皆様のご協力をお願い  
いたします(宇野)。



### ・泉 浩二

建設コンサルタント会社の品質・環境管理部勤  
務。専門分野；地球環境、環境マネジメント、  
環境教育。関心；持続可能社会構築に向けての、  
環境容量（世代間公平）、国際協力（地域間公平）  
の研究と地域での実践。

### ・糸井 守

主に“川”をテーマとし、下記団体など多方面  
で環境活動に取り組んでいる。

神田川ネットワーク、隅田川市民交流実行  
委員会、武蔵野エコ・クラブ



### 発行者

NPO 法人武蔵野・多磨環境カウンセラー  
協議会(MECC)事務局

180-0014 東京都武蔵野市曙前3-6-13-201

電話・ファックス：0422-52-5943

電子メール：tomismi@nifty.com

|    | 氏名    | 部門  | 所在地(市町村名) |                            |
|----|-------|-----|-----------|----------------------------|
| 1  | 富川 昌美 | 事業者 | 武蔵野市      | プラスチック・リサイクル、LCA、EA        |
| 2  | 阿部 英美 | 事業者 | 東大和市      | ISO、EA、LCA                 |
| 3  | 石田 義彦 | 事業者 | 小平市       | 廃棄物処理、リサイクル、EA、省エネルギー      |
| 4  | 泉 浩二  | 市/事 | 東村山市      | ISO、環境教育                   |
| 5  | 伊瀬 洋昭 | 事業者 | 日野市       | 大気環境計測、環境アセス、第1種放射線        |
| 6  | 糸井 守  | 市民  | 武蔵野市      | EMS、河川、EA                  |
| 7  | 稲田 昂  | 事業者 | 八王子市      | ISO、製造業の環境管理               |
| 8  | 宇野 哲夫 | 市民  | 東村山市      | 生ごみリサイクル、自動車公害             |
| 9  | 川真田直之 | 事業者 | 小平市       | 環境・化学アセス、ISO、LCA、化学物質、土壌汚染 |
| 10 | 葛尾 豊  | 事業者 | 羽村市       | 大気、水質、化学物質、廃棄物             |
| 11 | 倉員 嘉郎 | 事業者 | 多摩市       | ISO、LCA、EA                 |
| 12 | 小林 晶子 | 市民  | 小金井市      | 環境教育、水質、河川                 |
| 13 | 国生 純孝 | 事業者 | 国立市       | 微生物、酵素処理、水質、生分解プラスチック、有害物質 |
| 14 | 坂井 丈夫 | 事業者 | 三鷹市       | 公害、環境行政                    |
| 15 | 下田 俊幸 | 市民  | 三鷹市       | 自然保護、環境保全、自然観察、環境教育        |
| 16 | 高橋 博良 | 事業者 | 武蔵野市      | 食品工業における環境管理               |
| 17 | 竹本 秀人 | 事業者 | 武蔵野市      | ISO、環境アセス、環境計画、環境教育、社業学    |
| 18 | 田中 伸幸 | 事業者 | 多摩市       | 化学物質、環境リスク、EMS             |
| 19 | 出口 蓮子 | 市民  | 稲城市       | ごみ減量、リサイクル運動               |
| 20 | 林 光男  | 市/事 | 三鷹市       | 環境調査・分析、EA                 |
| 21 | 藤井 健史 | 事業者 | 国分寺市      | ISO、化学物質、公害対策、EA           |
| 22 | 松島 正  | 事業者 | 狛江市       | 総合技術管理・水道部門、ICO、EA         |
| 23 | 保坂 公人 | 市/事 | 中野区       | 自然観察、まちづくり/EA、下水(脱窒)、ごみ    |
| 24 | 三浦 秀夫 | 事業者 | 武蔵野市      | 環境調査・シミュレーション、環境教育         |
| 25 | 御船 直人 | 事業者 | 八王子市      | ISO                        |
| 26 | 門司 和夫 | 市/事 | 国分寺市      | ISO、EA、省エネ、自然環境保全          |
| 27 | 持田 勝見 | 事業所 | 青梅市       | ISO                        |
| 28 | 矢野 俊彦 | 事業者 | 千葉市       | 海洋環境科学、プラスチック              |
| 29 | 山口 洋  | 事業者 | 杉並区       | ISO                        |
| 30 | 若林高子  | 市民  | 小金井市      | 湧水・地下水の保全、水をめぐる文化、雨水利用     |

EA：エコアクション21受講、EMS：環境管理システム、ISO：ISO14001、

LCA：ライフサイクルアセスメント